

嘉麻市社協だより

野菜づくりで広がる
交流の輪

～寄ってこハウス
畑づくりの様子～

えがお

発行日 2009.6.1

No.
40



発行

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会
〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内
TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>
FAX 0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

空き家が増えることは、 地域にとって…



最近、ご自分の住んでいる
周りで、いつのまにか空き家

も課題を含んでいるのでは
ないかと思えます。

家の周りの草をとったり、ま
た溜まった郵便物の整理な
どをしています。仕事や病

置されたままになるのでは。」
と不安を口にします。

が増えてきたなあ、と感じら
れている方も多いのではな
いでしょうか。空き家となる
理由は、住人の方が亡くなら
れたり、また、子どもさんの
所に移り住んだり様々であ
りますが、長年お付き合いのあつ
た方々との関係が切れたり、
また、時間の経過とともに草

私たちの住む嘉麻市は、少
子・高齢化、過疎化の進行に
よって、一人暮らしの高齢者
や高齢者世帯の割合が非常
に高く、地域で暮らせなくな
った時に、残った「家」をどう
するのか、という切実な問題
に、多くの方々が直面する可
能性があります。

頻繁には帰ることができな
いそうです。
離れて暮らす娘さんとし
て一番心配になるのが、やは
り「防犯」の事で、今は、駐車
スペースをご近所の方に使
ってもらうなどで対応して
いますが、不安は尽きないと
のことです。

さらに、行政区長さんは、「今
まで、空き家のことに関して
深く考えたことはなかったが、
今回の取材をきっかけに、こ
の地区にどのくらいの空き
家があるのか、調べてみよう
かと思う。」と、関心を寄せて
いただきました。

が生い茂って行く様子を目
にする地域の方々にとっては、
本当に寂しく、切ない思いに
なるのではないかと思います。

この事は、当然個人の問題
ではあります。仮にその家
が「空き家」となった場合には、
前述した地域の課題にも結
びついてくる部分も出てき
ますので、今回初めて「空き家」

また、「時々帰ってくる」と、
ご近所の方々が家の周りを
掃除して下さっていて、本
当に嬉しく思っています。本
申し訳ないな、という気持ち
もあります。」と、複雑な胸の
内を明かします。

この取材を通して、これま
で個人の問題として捉えら
れていた空き家も、角度を変
えてみると地域の課題に結
びつく部分があることや、そ
うせざるを得ないご家族の
複雑な思いをはじめて知る
ことができました。

ご近所に親戚がいたり、ま
た、定期的にご家族等が帰省
できる状況であれば、ある程
度の管理はできると思いま
すが、そうでなければ、まっ
たく手付かずのままとなら
ざるを得ません。

市内にあるこの家屋は、昨
年4月に一人暮らしをして
いた住人の方（高齢者）が亡
くなられたことをきっかけに、
今日まで空き家の状態とな
っています。福岡市に住む娘
さんが、月に一度帰省して、

一方、地域の民生委員さん
は、「一人暮らしの高齢者が
多い地域であることを考え
れば、これからも空き家が増
えることは充分あるでしょ
うし、高齢化が更に進行すれ
ば、ご近所のつながりで手助
けすることも難しくなり、放

本会では、このような状況
を踏まえて、今年度より、地
域の防災や安全対策、環境保
全につなげていく、空き家管
理サービスを立ち上げるこ
とにしていますので、これに
関するご意見、ご要望等があ
れば、本会までお寄せいただ
ければ幸いです。

地域にとって、空き家が増
えていくさまは、まさに活力
が失われていく状態と言ひ
換えることができることも、
地域の防災や安全対策、さら
には環境保全の面において

さん、月に一度帰省して、

放

放

知り合おう!! 伝えよう!!

みんなの活動、地域のホットニュース!!



自然を大切に作る「心」を育てていきたい

～下山田小学校の取り組み～



この間の活動をを通して、子どもたちは、命や自然を大切にすること、学び、放流時には、「来年また見に来るからね。」

炭鉱の影響で汚れていた山田川の水をきれいにしようと、13年前に当時の山田ライオンズクラブのメンバーと山田中学校の生徒が、蛍の飼育を始めました。この活動は、現在も下山田小学校の4年生の総合学習の中で、鮭の稚魚や蛍を飼育して山田川に放流する活動として引き継がれています。

毎年6月になると、熊ヶ畑に生息している成虫を学校に持ち帰り、産卵・孵化させます。およそ半年間、えさを与えたり、温度管理などを行って、川に放流できるまでに成長させた幼虫を12月に山田川へ放します。



「立派な蛍になってね。」と声をかけるなど、蛍との再会に胸を膨らませます。

山田ライオンズクラブ環境委員長の三船國弘さんは、「一緒に育てた蛍を見るのはとても嬉しいし、子どもたちが自然環境に関心を持ってくれることが何よりも嬉しいです。」と目を細めます。

このように、この活動は蛍を育てると同時に、子どもたちの心も大きく育てることにつながっているようで、今年ももうすぐ、昨年放流された蛍たちが、山田川を元気に飛び回ることでしょう。

あなたの力を地域のために…



協会員による草取りサービスの提供

お問い合わせ先
嘉麻市社会福祉協議会
☎42-0751

日常生活のちょっとした困りごと(電球の交換や庭の草取り、網戸の張替え、建具の小修繕等)は、家族がいたり、身体的に元気であれば、容易に解決できますが、高齢となったり、障がいがあったりすると、その解決が困難になることがあります。

本会が実施している地域支えあい事業は、「困った時はお互い様」という住民同士のつながりを深めていくことを基本として、協会員として登録した市民が、有償によるサービスを提供し、高齢者等(利用会員)の困りごとの解決につなげていくものです。

現在、サービスを提供する協会員を募集していますが、特別な資格や技術は必要ありません。ご自身のこれまでの経験や特技を生かして、住みよい地域作りに参加してみたいかがですか。詳しくは左記までお問い合わせください。

景気低迷はやはり…増えているホームレス

5月8日(金)、午後8時過ぎ、NPO法人北九州ホームレス支援機構が新勝山公園の隣に設置した炊き出し拠点には、この日も弁当や味噌汁を求めて、長い列ができていました。

今回、私たちは市民の皆さんから寄せられた支援物資(スポーツシューズ10足、タオル64枚等)を届け、炊き出し、市内の巡回活動にも参加しました。



巡回活動とは、炊き出しが行われる拠点まで来ることでできない人へ、弁当や支援物資を届け、一人ひとりの生活状況等を把握する活動です。

同機構のスタッフと共に八幡方面を巡回した私たちは、最近、公園で生活するようになって、「近所の住民から生活道具を捨てられたり、石を投げつけられたり、脅されたりして、毎日危険を感じている。」とスタッフに訴える男性と出会いました。

北九州市においても、景気低迷の影響によって、一時は減少傾向にあったホームレスの数が徐々に増えてきているようで、同機構の原山さんは「炊き出しの際に準備する弁当の数も以前と比べ、20食程度増やしています。今後さらに深刻化していくのではないのでしょうか。」と不安

を口にしました。

初めてボランティアとして参加された最上睦美さんは、「実際に活動に参加して、ホームレスの方と向き合ってみて、これまでどこか自分とは違う特別な存在として見ていたことに気づきました。」と感想を語ります。

本会は、今回、初めて越冬期ではない時期に支援物資を届けました。そこには季節に関係なく厳しい環境の中で生活しているホームレスの姿がありました。

支援物資を届けることは、ホームレス支援のほんの一部でしかありませんが、年間を通して活動に取り組みながら、この問題について皆さんと共に考えていきたいと思います。

ホームレス支援活動にご協力ください!!

支援物資をお寄せください!!

- 男性用半袖Tシャツ(M~LL)
 - 石鹸(未使用)
- 《お寄せいただく際の注意点》
Tシャツは破れやほころびがなく、洗濯をしたものに限ります。

《物資の受付場所》
嘉麻市社会福祉協議会
(稲築住民センター内)
□住所:岩崎1143番地3
□電話:42-0751

支援会員になって、ホームレスの方々に応援してください!!

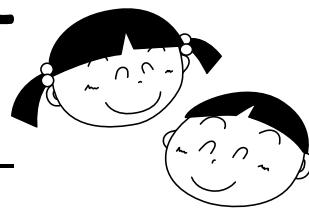
皆様からいただいた会費で物資を購入し、ホームレスの方に届けます。
会費額:1,000円/1口(年額)

ボランティア活動に参加しませんか!?

- 内容:炊き出し、巡回活動
- 日時:平成21年7月24日(金)
18時出発 23時帰着予定
- 募集人数:5名(18歳以上の方)

子どもたちが安全な児童遊具で遊べるように

— 稲築地区の福祉推進員が 児童遊具を点検 —



本会が稲築地区の公民館や広場に設置している児童遊具(15ヶ所33遊具)が、安全に利用できる状態にあるのかを確認するため、4月15日から5日間にわたって実態調査を実施しました。

この調査には、稲築地区で地域福祉の推進役として活動する福祉推進員10名が参加され、ブランコのチェーンが磨耗してないか、ボルトの緩みはないか、すべり台や鉄棒に錆びつきがないかなど、普段目が届かない部分について丹念に点検しました。その結果、ほとんどの遊具は良好な状態でしたが、中には、修理や塗装が必要な遊具がありましたので、すぐに対処しました。

初めて参加された藤田義輝さん(平東行政区福祉推進員)は「子どもたちは元気がよくて、晴れた日



は外で遊んでいる姿をよく見かけます。安心して遊ぶことができるように、私たち地域住民が見守っていかなければいけないですね。」と、その大切さに目を向けます。

日々風雨に晒されている遊具は、使用頻度にかかわらず、時間の経過とともに劣化が進んでいくものです。これからも、子どもたちが遊具を使って元気に遊べるような状態を保っていくためにも、定期点検が欠かせないことを改めて実感するものとなりました。

シリーズ

介護体験記

No.18

懸命に生きる親父

縄田 敏光



今年の1月10日、雪が降り積もり大変寒い朝だった。午前6時頃、親父(83歳)の部屋から唸り声が聞こえ、何はさておき駆けつけると、親父は布団からはみ出し、午前4時頃から畳の上で横たわっていたと言う。

およそ2時間が経過していたので衣服は尿で濡れ、手足は水のように冷え切っていた。全く動けない親父を毛布に寝かせ、毛布ごと引き摺り居間のストーブで暖を取った。着替えさせようとするが不慣れな私は、体重50kgの体を思うように動かす事すら出来ずこぼした。

着替えを済ませ体が温まったころ、病院の送迎車で搬送。診断の結果、内臓疾患による体力の

低下で即入院となった。全く動く事が出来ずベッドで寝たきりの状態。真つ先に心配したのは、床ずれと認知症。これ避けるため毎日、病院へと足を運びベッドから体を起こして背中が温かくなるまで摩擦した。また身近な出来事やニュース等も語り掛け、認知症の予防に努めた。優しい言葉や同情は氣力を失うので、私はあえてきつい言葉を投げかけた。「我が家に帰りたいなら氣力で治せ」「自分の足でしっかり歩け」と……。

半月が過ぎた頃、「今朝はお粥とやわらかいおかずを食べたぞ」と、それはそれはうれしそうに顔をして話してくれた。入院以来、初めて食事を摂ったので、特にうれしかったのだろう。

徐々にはあるが快方に向い、2月28日、初めて病室で歩いた。ベッドの柵を伝って、不安を抱きながら慎重に3〜4歩き、またまたうれしそうな表情を見せてくれた。

その後、リハビリに精を出し、なんとか我が家で生活が出来るまでに回復。3月28日、無事退院することが出来た。退院後は週に3日、リハビリに通い、介護保険により手すりを取り付けていただいた。

現在、親父はこの手すりを頼りに懸命に生きようとしている。

丈夫で木のぬくもりを感じる丸太のベンチが完成!! ～日曜大工ボランティア「かたつむりの会」～

本会が市内のバス停等に設置するため、かたつむりの会に製作を依頼していた丸太のベンチ4脚が、この度完成しました。

丸太の状態からおよそ20時間以上を費やして出来上がったベンチは、それぞれに表情を持ち、手作りの温もりが感じられるものばかりです。

同会の前田幸利さんは、「初めての経験で、限られた道具の中で作っていくのは大変でした。長く使ってもらえるようにと思い、特に脚の接続部分については、みんなで知恵を出し合いながら作りました。試行錯誤しながら作っていくうちに自分たちの腕も上達しているのがわかりました。」と、完成したベンチをうれしそうに眺めます。

同会ではこの他に2脚のベンチを製作し、市外の公園に設置したそうで、今後はベンチの製作だけでなく、棚の取り付けなどの依頼があれば、自分たちのできる範囲内で対応していくなど活動の幅を広げていくことも考えています。また、一緒に活動するメンバーも募集していますので、関心のある方はぜひお問い合わせください。



～ボランティア募集～

手や肩、背中などをやさしくさすったり、もんだりすることでストレスを緩和できることをご存知ですか。福岡県いやしのケア赤十字奉仕団「なごみ」では、福祉施設や病院で生活している方々のストレスを少しでも緩和できるよう活動をしています。今回、一緒に活動していただけるボランティアを募集していますので、参加してみませんか。

(年齢、経験等は問いません。)

活動日時

毎月第二水曜日 14時から2時間程度

活動場所

嘉麻赤十字病院

児童養護施設嘉麻学園では、園内で学習する小・中学生を個別にサポートしていただけるボランティアを募集しています。このような活動の経験がある方、また継続して活動していただける方は、特に歓迎です。子どもたちの学習の様子を一度見学してみませんか。

活動時間

19時～21時(週1回程度)

活動場所

嘉麻学園(漆生)

活動内容

小・中学生個々の学習サポート
(国語・算数・英語・数学等)

【お問い合わせ先】かまボランティア・市民活動センター ☎42-0751

母の日のプレゼント

稲築東学童保育所

新1年生が入学して1ヶ月が経ち、元気に学校から帰って来る子どもたち。4月当初は、指導員の「おかえり！」の言葉に、慣れていない1年生は、「ここ家じゃない。」と言っていました。が、「お家の人がお迎えに来られるまでは、ここは家と同じよ。」の言葉に、いまでは、「ただいま！」と元気に学童保育所に帰って来るようになりました。

5月の第2日曜日は、母の日。5月は、そんな母の日に因んで『お家の方へのプレゼントづくり』に取り組みました。1年生は台ふきん、2年生はアームバンド、3年生はマット、4年生はビーズのストラップの製作です。お家の方の喜ぶ顔が見たい一心で、遊ぶ時間も惜しんで、一生懸命製作に励みました。心を込めて書いたメッセージと一緒に、嬉しそうにプレゼントを渡す子どもたち。「ありがとう！」とわが子の作ったプレゼントを受け取るお家の方々。

「ままへ。いつもやさしく、そして、おいしいごはんをつくってくれてありがとう。おしごとがんばってね。大好き。ありがとう。」



*山田ふれあいハウス
碓井千歳会館情報*

**ご家庭で不用となった
将棋盤や駒は
ありませんか!?**

山田ふれあいハウスは、市民の方々がレクリエーション(将棋や囲碁等)やおしゃべりを通じて、くつろぎ、交流できる場として親しまれています。

ここ最近では、将棋の対局を楽しみに来館される方が増え、管理をしている本会としても嬉しく思っているところですが、逆に将棋盤の数に限りがあるために、順番待ちとなる状況もできています。そこで、ご家庭で使わなくなった将棋盤や駒(できれば全ての駒が揃っているもの)を募集しますので、お寄せいただければ幸いです。

【お問い合わせ先】

山田ふれあいハウス

TEL 52-1847



ふるさとの風景ポストカード

嘉麻市の昔懐かしい風景をはがきにしたポストカード「ふるさとの風景」が、「当時を思い出す写真がとて懐かしい」「県外で暮らす家族に贈りたい」と、大変好評です。

ポストカードは、社協事務局(稲築住民センター内)の他、カツホー馬古屏でもお買い求めできます。



4枚1セット
200円

カツホー馬古屏

嘉麻市牛隈882番地1 ☎0948(57)2222
営業時間/午前8時30分~午後5時

嘉麻市の住民の皆様から、
ご寄附をいただきました。
心より厚くお礼申し上げます。



寄附・香典返し

4月16日～5月15日受付分

【鴨生町】

親族 宮有 保廣様

故 宮有 幸 様

親族 梶原 カズエ様

故 梶原 照国様

【漆生本村】

親族 松熊 静子様

故 松熊 光彦様

【平第二】

親族 坂田 公一様

故 坂田 美知子様

【出川】

親族 坂本 和光様

故 福田 福松様

【飯田】

親族 中村 美智子様

故 中村 徹 様

親族 田籠 健一様

故 田籠 竹治様

【中山田上】

親族 松岡 孝子様

故 松岡 俊幸様

【下宮】

親族 大里 一男様

故 大里 政夫様

【熊ヶ畑第二】

親族 上水 精一様

故 上水 秀子様

【上牛隈】

親族 中島 政子様

故 中島 加代子様

【下牛隈】

親族 川原 久美子様

故 川原 和己様

【一般寄附】

笹原 米村 昭代 様

嘉穂の名水愛好者一同 様

【物品寄附(将棋盤・駒)】

下益 匿名 名様

【子育てリユース】

西岩崎 溝口 真須美様

山野第一 柳 紀枝様

山野第二 藤原 春代様

樋渡 東小野 祐子様

銭代坊 工藤 恵 様

鴨生北町 服部 陽子様

下白井西 井上 忍 様

南ヶ丘団地 石川 啓子様

昭嘉 阿部 博子様

ゆうひが丘 馬場 万里亜様

石ヶ崎 渡邊 美千代様

嘉穂才田 児玉 清美様

上 田中 陽子様

飯塚市 福岡 美紀様

飯塚市 朱雀 麻起様

【リングプル】

漆生中央 田中 茶舗 様

銭代坊 工藤 恵 様

ちくほう三線友の会 様

西郷 斎藤 秀子様

上白井 津留 文子様

上白井上 匿名 名様

筑紫 原田マサ子様

さくらが丘 小原 唯 様

熊ヶ畑第二 樋口 蓮 様

熊ヶ畑第二 樋口 想 様

熊ヶ畑第二 樋口 陽樹 様

天神 島田 睦男 様

大橋 姉川 亮太 様

石ヶ崎 杉田 強 様

嘉穂才田 大屋 由美 様

三菱第一 匿名 名様

嘉麻市役所山田庁舎 様

嘉麻市役所保護課 様

嘉麻市役所保護課 様

【古切手】

鴨生北町 中須 サカエ様

西岩崎 匿名 名様

漆生南部 宇野 洋子様

稲築手話の会 竹井政枝 様

上白井 津留 文子 様

大橋郵便局 様

下山田郵便局 様

嘉麻市役所山田庁舎 様

教育ナビゲーション(株) 様

【アルミ缶】

下白井東 匿名 名様

六四田 松田 敏雄 様

下宮 仲道 庸正 様

天神 島田 睦男 様

嘉穂才田 大屋 由美 様

下牛隈 畠中 鈴香 様

【使用済テレカ】

鴨生町 東 イソ 様

稲築手話の会 竹井政枝 様

上白井 津留 文子 様

あなたの会費が、社協の
地域活動を支えています

会員として、次の方々にご
加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます)
4月16日～5月15日受付分

〔個人会員〕

〈漆生老松〉松尾宏美

〈鴨生北町〉中嶋亜紀子

〈山野第一〉古川啓子

〈枝坂〉後藤ナヲ子

〈出川〉和田順子

〈ゆうひが丘〉和田正

〈神幸〉江藤寛士

〈古河〉三輪美樹

〈百々谷〉坂本崇栄

〈千手〉藤本奈緒美



嘉麻市社会福祉協議会指定
葬祭場紹介

かほ葬祭 あじさい会館

嘉麻市西郷150-1
☎(0948)62-5566



- 24時間、承ります。
- 真心こめて、お手伝いさせていただきます。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、かほ葬祭あじさい会館を含め、市内に8カ所あります。

善光会館 稲築会場	☎83-5000
おかむら葬祭岡村会館	☎42-4420
飛鳥会館 南斎場	☎42-4241
きど葬祭やまさ碓井斎場	☎62-4499
ひさつね会館	☎52-0758
いすや会館	☎57-4444
セレモニーホールおおつか	☎52-1212

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします」とお伝え下さい。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。

知っておきたい

葬儀マナー・基礎知識 No.25

今回ご回答頂くのは…
かほ葬祭 あじさい会館
山下信治さん



- Q** 葬儀の日程を決める時に気をつけることはありますか。
- A** 葬儀の日程は、「死亡後24時間以内に火葬することはできない」という法律を踏まえて、火葬場やお寺等の都合を調整して決めることとなります。加えて、親族や関係者が葬儀に参列できるような時間的なゆとりも考慮します。一般的には、亡くなった翌日に通夜、翌々日が葬儀という日程が多いようです。

7月の
総合相談

心配ごと相談は、毎月第2・4水曜日に稲築住民センターにて開催します。法律相談(無料)は、毎月第1木曜日が山田ふれあいハウス、第3木曜日が稲築住民センターです。法律相談は予約が必要です。お早めに下記までお申込みください。

法律相談

- と き: 7月2日(木)
13:00～16:00
ところ: 山田ふれあいハウス
-
- と き: 7月16日(木)
13:00～16:00
ところ: 稲築住民センター

心配ごと相談

- と き: 7月8日(水)
13:00～15:00
ところ: 稲築住民センター
-
- と き: 7月22日(水)
13:00～15:00
ところ: 稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会 ☎42-0751

嘉麻市の里山

私は長谷山の東に位置し、
確井町を一望できる平山の
里山で生まれました。小・中
学校時代、ヒルに吸い付かれ
ていることも忘れて小川で



香川県高松市在住
本城 凡夫さん(64才)
平山出身

遊び、溜池では夏は水泳、秋は菱の実採り、山ではチャン
バラ、アケビやムベ採りなどに夢中になって遊んだ多く
の楽しい思い出があります。年に一度は溜池が干されて
鯉や鮒が配られ、その日の家々は一段と賑やかでした。ま
た、着飾って踊った周り太鼓と獅子舞の勇壮さも脳裏に
染み付いています。しかし、炭鉱華やかなりしこの時代、
夜中にけたたましいサイレンの音が鳴りわたり、昨晩ま
で元気であった友人のお父さんが落盤で亡くなられた事
故を今でも忘れることはできません。

高校に通うようになって、活動範囲は嘉麻市全域に急
に広がりました。特に大隈から眺める古処連峰を背に広
がる里山は美しく、嘉麻川や千手川上流の景色に惹かれ
て、大隈、足白、千手の友人の家を何度も自転車で訪問し
たものです。横須賀、伊勢、広島、国立水産研究所で20余
年を過ごした後、九州大学農学部に異動し、山田高校出身
の小林善親(大隈)、小田一幸(千手)の両教授と出会いま
した。毎年4月には小田先生の旧宅に集まり、たけのこ掘
りをして談笑する行事は今も続いています。

今年から香川大学の研究活性化を果たす学長指名の特
任教授として赴任し、高松市内で過ごしていますが、福岡
に戻った時には、里山の景色満載の古処連峰の麓を訪ね
ては心を癒し和ませたいと思っています。

いつまでも安心して暮らせる地域づくりのために

～平成21年度の「社協会員」を募集しています～

「住み慣れた嘉麻市で、いつまでも暮らし続けたい」という願いは、市民共通の思いではないでしょうか。今日、介護保険をはじめとする、様々な公的な福祉サービスは充実してきていますが、制度だけでは対応することができない福祉課題も多数存在しているのが実態です。本会は、市民の方々の参加と協力に基づいて、そのような福祉課題を解決する事業や活動を実施していくため、年間を通して「社協会員」の募集を行っています。

平成21年度にみなさんから寄せいただいた会費は、地域支えあい事業や子育てリユースセンター事業、地域福祉部の設置・支援事業などの活動財源として、有効に活用させていただきますので、趣旨をご理解いただきまして、多くの方々のご加入をお願いいたします。



■会費の種別と金額

一般会員 1口 1,000円/年額 法人・団体会員 1口 3,000円/年額

お問い合わせ先 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 電話 0948-42-0751

シリーズ 炭鉱の記憶 No.27



初井トモエさん
86歳
(西馬見在住)

「炭坑節を聞くと、今でも当時の苦しかったことや、楽しかったこととかいろんなことを思い出すね。」と言って、炭坑節を口ずさみ、どこか遠くに目をやった初井トモエさんは、当時のことを思い出しながら語り始めました。

19歳の時、トモエさんは、三井炭鉱(田川市)に勤めていた広土さんのもとに嫁いできました。

その後間もなく長男が誕生し、家事・育児に加え、炭鉱で働く夫を支えるため、農作業も担っていたそうです。「当時は炭鉱で働かんと生活が成り立たなかった。だからその分、農作業は私の仕事やった。男たちに混じって杉山に茅を刈りに行くこともあったし、本当に男と同じように働いたよ。」と振り返ります。

広土さんは、同炭鉱まで毎日自転車を通っていたそうで、「二番方(午前7時ごろからの勤務)の時には夜が明けないうちからご飯の準備をして送り出し、二番方(午後5時ごろからの勤務)の時には、深夜になるまで帰りを待っていたよ。夫もそうやけど、自分もよう働いた。」と話します。

そんなトモエさんにとって楽しみの一つだったのが「おかのんこう」です。これは馬見地区や宮野地区などで、昔から受け継がれてきた風習で、同じ地区内に住む同世代の女性の集まりのことです。月に一度順番でメンバーの家をまわり、そこで食事をしたり、話をしながら、交流を深めていたのだそうです。

「私たちのグループは7人くらいで、他所から嫁いできた者同士、いろんな話に花が咲きよった。みんなで大隈の町にあった芝居小屋まで3時間くらい歩いて見に行ったりすることもあったし、何かが獲れたら、うちに食べに来んねって誘って、みんなでご飯を食べたりもしよった。そんなことから強い連帯感ができとったね。」と、炭鉱マンの家族の楽しさを懐かしみます。

また、トモエさん自身も山田にあったボタ山での選炭作業に従事したことがあり、今の自分があるのは、炭鉱のおかげ、家族のおかげ、地域の人様のおかげと、現在もご近所の方に自分の畑で出来た野菜のおすそ分けを続けています。